

【No. 1】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係で、掲載できません。

1. ヴェルベットモンキーの使用する言語には論理的接続詞が含まれていないので、ヴェルベットモンキーは、自らの思考を仲間と共有することができない。
2. 環境との適応を進めていくうちに、ヴェルベットモンキーが人間と同じ極大言語を獲得していく可能性は非常に高い。
3. ヴェルベットモンキーは、生理的な限界によって、「豹が来た。だから大蛇は来ない」といった予測ができない。これがヴェルベットモンキー語に三つの信号しかない理由である。
4. 最大の内在的表現力を持つ言語で思考する生き物を想定すると、その生き物は、考えうる全てのことが思考できるはずである。
5. 言語の極大性条件は、語彙数の多さに加え、その言語が論理的推論を支えられる構造を有しているかによって決まる。

【No. 2】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係で、掲載できません。

1. ごく平凡な普通の人間が、自分の行為に自信を持ってないのは、その価値基準の根源が、自分の理解を超えた神的存在であるためである。
2. 近代化により社会の秩序が消失したため、社会の中で生きている人間は、他人の行為や慣習を模倣しなくなった。
3. 「神」が単なる「見せかけ」であり、聖職者が権力と富を得ることを目的にしていることが大衆に暴かれた結果、社会がアナーキーな状態に陥った。
4. 社会の価値基準を、一つの絶対的不動点に係留することが不可能になった現代においては、各人が、自らの行為を振り返ることにより、新たな絶対的な価値を作り出す必要がある。
5. 近代化の帰結として、社会を安定させるためには、「人間」の限界を超えた、「神」ではない「超人」とも言うべき存在が、価値の源泉として必要となると考えられる。

【No. 3】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係で、掲載できません。

1. 19世紀の工業社会では、量が重要視されていたが、生命や生物の視点から見直され、現在は質が重要視されるようになった。
2. 科学は、生命の基本ともいえる DNA の発見をもたらしたが、生物の本質を理解するためにはその「過程」についても考えていかななくてはならない。
3. 生物が効率よく進歩していったことにより、進化が飛躍的に進み、多様な生物の誕生がもたらされた。
4. アリとサクラは、互いに持続的に刺激を受け合うことで、共に発展し新たな進化をもたらした。
5. 現在の社会で求められている持続的開発は、生物の進化の理解には必要な概念ではなく、生物の世界では、内省的な展開が求められている。

【No. 4】 次の文の  に当てはまるものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係で、掲載できません。

1. 意思とはすべて錯覚だから
2. 刺激が意思を制御しているから
3. 人間はあまりにも怠惰だから
4. 自問自答を繰り返しているから
5. 他者の影響を強く受けているから

【No. 5】 次の文は、莊子に政務を執らせようとした楚王が、釣りをしている莊子のもとへ二人の大夫(役人)を向かわせたときのものである。内容が合致するものとして最も妥当なのはどれか。なお、訓点は参考までに一例を付したものである。

莊子持シ竿、不レ顧ミ日、  
 『吾聞、楚有ニ神亀。死シテ已ニ三  
 千歳ナリ矣。王、巾筥<sup>\*1</sup>而蔵之廟堂之上。』此ノ亀者、  
 寧<sup>ロ</sup>其死<sup>シテ</sup>為<sup>ニ</sup>留<sup>メテ</sup>骨<sup>ヲ</sup>而貴<sup>バルル</sup>乎、寧<sup>ロ</sup>其生<sup>キテ</sup>而曳<sup>カン</sup>尾<sup>ヲ</sup>於塗<sup>ニ</sup>乎。  
 中<sup>ニ</sup>乎。』二大夫日、  
 『寧<sup>ロ</sup>生<sup>キテ</sup>而曳<sup>カント</sup>尾<sup>ヲ</sup>於塗<sup>ニ</sup>中。』莊  
 子曰、  
 『往<sup>ケ</sup>矣。吾將<sup>ニ</sup>曳<sup>カント</sup>尾<sup>ヲ</sup>於塗<sup>ニ</sup>中。』

(注) \*1 巾筥：布で包んで箱に入れておく \*2 塗中：泥の中

1. 莊子は、神亀を釣ることができたら楚王の申出を受けるつもりだった。
2. 莊子は、楚王が神亀を丁重に祭っていることは無意味なことだと言った。
3. 莊子は、二人の役人に亀の例え話をして楚王の申出を断った。
4. 莊子は、楚王に会うため、二人の役人と共に楚王のもとへ向かった。
5. 莊子は、楚王から逃れるため、釣りをやめて泥の中に身を隠した。

【No. 6】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係で、掲載できません。

1. 中国の陶磁器は、当初は人気なかったものの、18世紀に入ってから少しずつ人気が出るようになった。
2. 中国の陶磁器は、熱に強く、落としても割れないほど丈夫であったため、人々の間で流行した。
3. Delft では陶器の生産が盛んであったが、生産の過程において、しばしば火薬が爆発する事故が発生した。
4. Delft の陶工たちは、市場の需要に応えるため、中国の磁器に似ているがずっと安価な陶器を生産した。
5. 中国で生産された青色の磁器は、長い歴史の中で、簡素で洗練されたデザインへと変化し、価格が安くなった。



【No. 7】 次の文の内容と合致するものとして最も妥当なのはどれか。

著作権の関係で、掲載できません。

1. 熱帯アンデスの南部は、約 980 種類のカエルの生息地となっており、そのうち 150 種類以上をグラスフロッグが占めている。
2. 他のカエルと異なり、オスのグラスフロッグは、自分の卵がふ化して成体のカエルになるまで守り続ける習性がある。
3. グラスフロッグは、体調が悪いときには色素が不足し、身体が半透明となるため、心臓や肝臓などが容易に見られるようになる。
4. 今回新たに発見された 2 種類のグラスフロッグには、外見や大きさに差が見られたが、DNA を分析すると遺伝子に僅かの違いしかないことが判明した。
5. 研究者によると、今回新たに発見された 2 種類のグラスフロッグは、互いに交配することはなく、それぞれ突然変異が生じていたと考えられている。

【No. 8】 あるマラソン大会の参加者にアンケート調査を行ったところ、次のことが分かった。

- 3位以内に入った者は、大会前日に肉料理を食べた。
- 友人と共に参加した者は、大会前の1か月間に毎日10km走っていた。

このとき、「3位以内に入った者は、大会前の1か月間に毎日10km走っていた。」ということが確実にいえるためには、次のうちどの条件があればよいか。

1. 友人と共に参加しなかった者は、大会前日に肉料理を食べなかった。
2. 大会前の1か月間に毎日10km走っていた者は、大会前日に肉料理を食べなかった。
3. 大会前日に肉料理を食べなかった者は、大会前の1か月間に毎日10km走っていなかった。
4. 大会前日に肉料理を食べなかった者は、友人と共に参加しなかった。
5. 友人と共に参加した者は、3位以内に入った。

【No. 9】 A～Eの五つのサッカーチームが総当たり戦を行った。試合に勝ったチームには3点、負けたチームには0点、引き分けた場合は両チームに1点ずつ与えることとし、合計点によって順位を決めたところ、合計点と同じとなったチームはなかった。各チームについて次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- A：合計点で5位であった。Cと引き分けた。
- B：合計点は7点であった。
- C：一度も負けなかった。合計点で1位であった。
- D：BとCに負けた。
- E：合計点は5点であった。B及びDと引き分けた。

1. Aの合計点は、2点であった。
2. Bは、Aに負けた。
3. Cの合計点は、10点であった。
4. Dは、Aと引き分けた。
5. Eは、Cと引き分けた。

【No. 10】 A～Dの4人がそれぞれ4個のプレゼントを所持しており、次のルールでプレゼントの受渡しを行った。

[ルール]

- ・ 1回目はAとB、2回目はBとC、その後は順次、CとD、DとA、AとB、BとC、CとD、DとA、AとB、…の順でプレゼントの受渡しを繰り返す。
- ・ それぞれの受渡しでは、どちらか一方がもう一方に1個のプレゼントを渡す。
- ・ 4人のうち、いずれかの者の所持するプレゼントの数が、0個又は7個になった時点で、プレゼントの受渡しは終了する。

次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

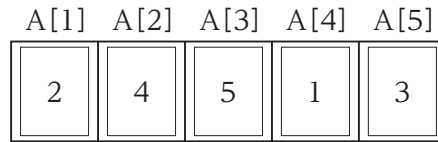
- 1回目の受渡しで、BがAにプレゼントを渡した。
  - 2回目の受渡しで、BがCにプレゼントを渡した。
  - 3回目の受渡しで、DがCにプレゼントを渡した。
  - 4回目の受渡しで、AがDにプレゼントを渡した。
  - 6回目の受渡しで、CがBにプレゼントを渡した。
  - 9回目の受渡し後に、プレゼントの受渡しが終了した。
- 
1. 5回目の受渡しでは、AがBにプレゼントを渡した。
  2. 8回目の受渡しでは、DがAにプレゼントを渡した。
  3. 9回目のプレゼントの受渡し終了時までの間に、Aが渡したプレゼントは2個であった。
  4. 9回目のプレゼントの受渡し後、Bの所持するプレゼントはなくなった。
  5. 9回目のプレゼントの受渡し終了時には、Cは、5個のプレゼントを所持していた。

【No. 11】 A～Fの6人が、それぞれ、犬、猫、トカゲのいずれか1種類の動物を飼っており、豚肉、魚肉、野菜のいずれか1種類の食べ物を餌として与えている。6人が飼っている動物と餌について、次のことが分かっているとき、確実にいえるのはどれか。

- 動物と餌の組合せが同じ人はいなかった(例えば、犬を飼っていて、野菜を餌として与えている人が2人以上いることはなかった。)
- 野菜を餌として与えられていた動物は、犬だけであった。
- 豚肉を餌として与えていたのは、BとDだけであった。
- 猫を飼っていたのは、Aだけであった。
- CとE、DとFは、それぞれ同じ動物を飼っていた。

1. 魚肉を餌として与えていたのは、2人だけであった。
2. AとEは、同じ食べ物を餌として与えていた。
3. Cは、トカゲを飼っていた。
4. DとEは、同じ動物を飼っていた。
5. Fは、魚肉を餌として与えていた。

【No. 12】 図のように、箱Aが五つのスペースに仕切られており、各スペースを左から順にA[1]～A[5]とする。いま、1～5までの数字が1字ずつ書かれた5枚のカードが図のようにA[1]～A[5]に入っている。



ここで、隣接するスペースに入っているカードに書かれた数字の大小を比較し、それらが昇順（数字が小さい順、(例) 1 → 2 → 3 → 4 → 5 の順）になっていない場合に、入替えを繰り返してカードを並び替える。この方法を用いて、図の5枚のカード全てを左から昇順に並べる手順が下記のとおり示されている。このとき、図の5枚のカード全てを左から昇順に並べ終わるまでに、手順の4行目におけるカードの入替えは何回行われることになるか。

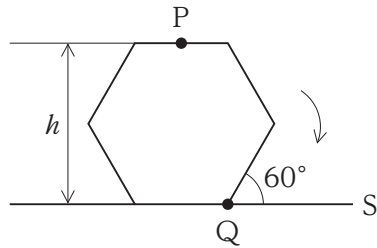
ただし、各手順の先頭に記載されている( )付きの数字は行番号である。また、手順中のi及びjは、繰り返しの処理に使われる変数である。

#### カードを昇順に並べる手順

- (1) i を 1 から 4 まで 1 ずつ増やしなが
- (2)     j を 2 から 6-i まで 1 ずつ増やしなが
- (3)         もし A[j-1] に入っているカードの数字が A[j] に入っているカードの数字より大きいならば
- (4)             A[j-1] に入っているカードと A[j] に入っているカードを入れ替える
- (5)             を実行する
- (6)         を繰り返す
- (7)     を繰り返す

- 1. 3回
- 2. 4回
- 3. 5回
- 4. 6回
- 5. 7回

【No. 13】 図のように、正六角形の一辺の中点Pと頂点Qがあり、点Pは、直線Sから距離  $h$  のところに位置している。この正六角形を、直線S上を滑ることなく右方向に進むように、1回あたり角度  $60^\circ$  ずつ回転させる。このような回転を105回行ったとき、点P及び点Qの直線Sからの距離の組合せとして最も妥当なのはどれか。

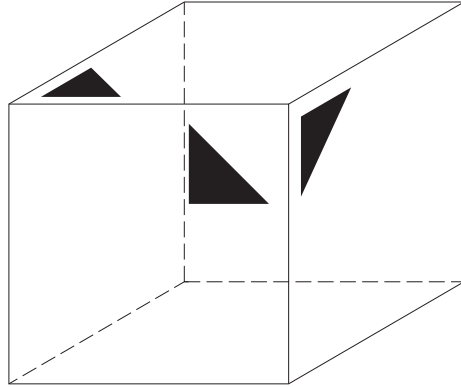


	点Pの直線Sからの距離	点Qの直線Sからの距離
1.	0	$\frac{h}{2}$
2.	0	$h$
3.	$\frac{3h}{4}$	0
4.	$\frac{3h}{4}$	$\frac{h}{4}$
5.	$\frac{3h}{4}$	$\frac{h}{2}$

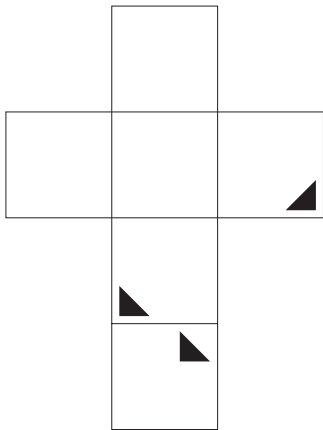


【No. 14】 図のように、三つの面に直角三角形が描かれた立方体がある。この立方体の展開図として最も妥当なのはどれか。

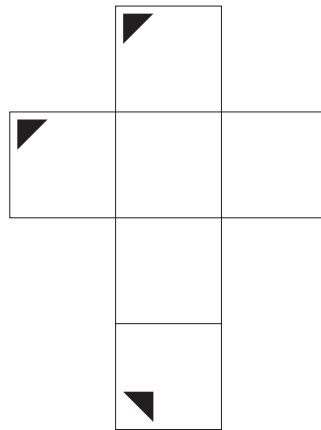
ただし、直角三角形は立方体の外側に描かれ、内側からは見えないものとする。



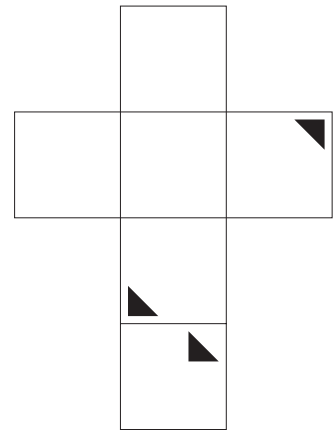
1.



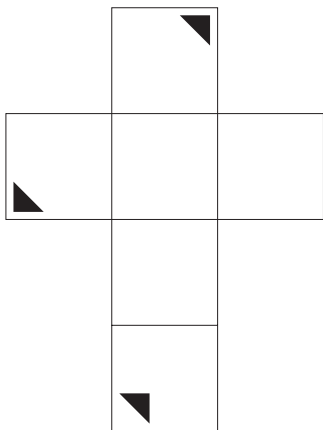
2.



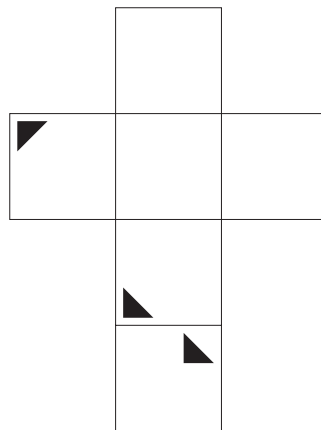
3.



4.



5.



【No. 15】 0～3までの数字が1字ずつ書かれた札が全部で5枚ある。その内訳は  $\boxed{0}$ 、 $\boxed{1}$ 、 $\boxed{2}$  がそれぞれ1枚ずつ、 $\boxed{3}$  が2枚である。この5枚から3枚を選んで3桁の整数をつくるとき、できる整数は何通りか。

1. 26通り
2. 28通り
3. 33通り
4. 40通り
5. 48通り

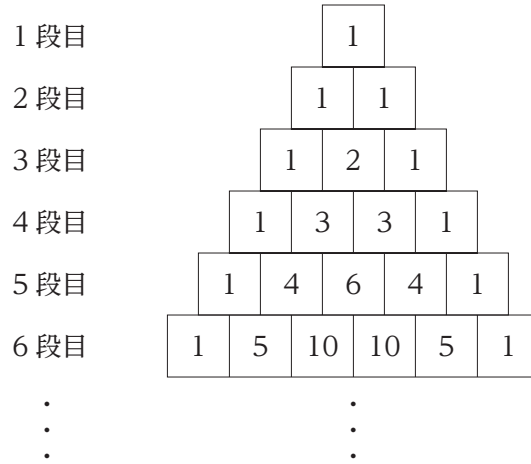
【No. 16】 部屋Xを掃除するのに、A、B、Cの3人が一緒に行くと8分かかり、A、Bの2人が一緒に行くと10分かかる。部屋Yを掃除するのに、Aが1人で行くと7分かかり、B、Cの2人が一緒に行くと8分かかる。

このとき、部屋Xの掃除をBが1人で行うのにかかる時間は何分か。

ただし、掃除にかかる時間は、A、B、Cのそれぞれで一定であるとする。

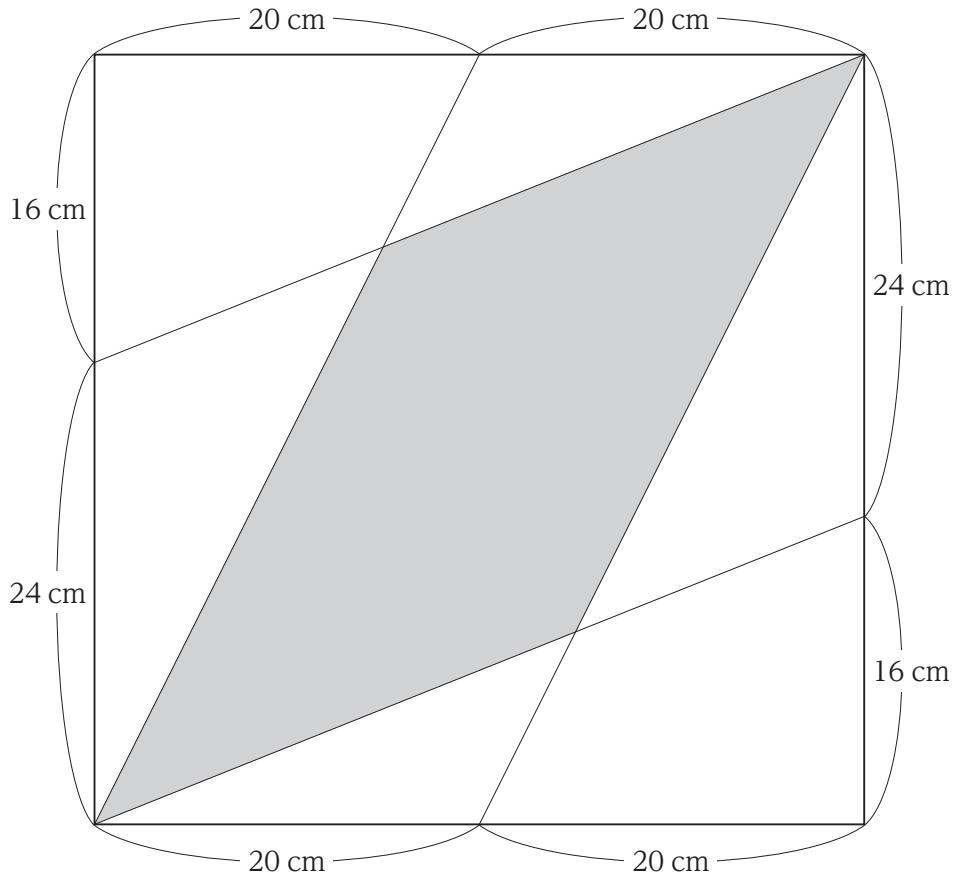
1. 15分
2. 30分
3. 35分
4. 40分
5. 56分

【No. 17】 図のように、1 段目が 1 であり、それより下の段は、両端が 1 で、それ以外が左上と右上の数字の和となるように数字が並んでいる。11 段目の真ん中(左から 6 番目)にある数字は何か。



1. 70
2. 126
3. 210
4. 252
5. 462

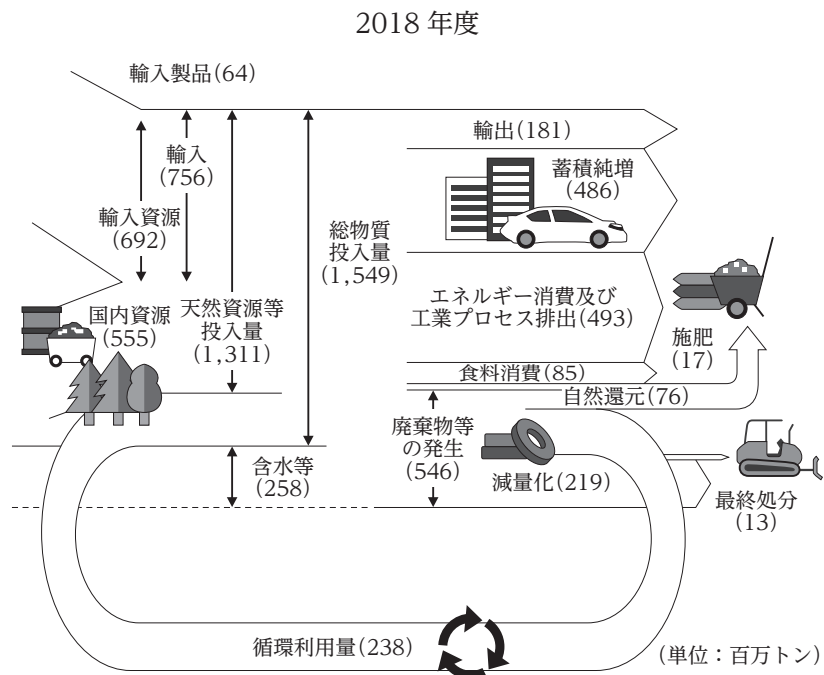
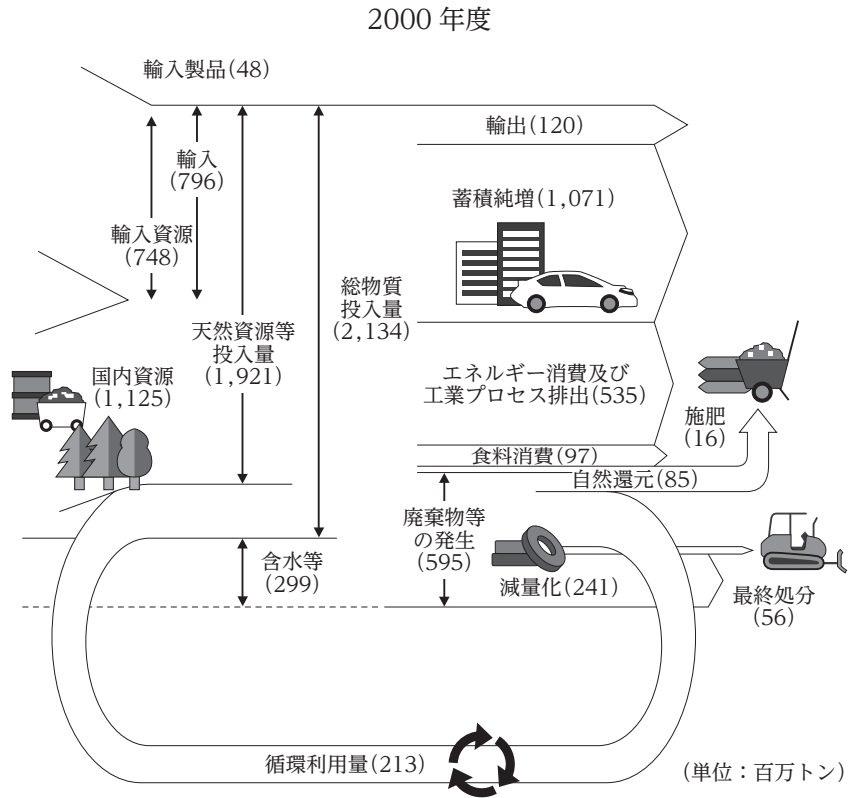
【No. 18】 図のように、一辺が 40 cm の正方形に、4 本の直線を引いた。このとき、4 本の直線で囲まれている部分(網掛け部分)の面積はいくらか。



1.  $580 \text{ cm}^2$
2.  $600 \text{ cm}^2$
3.  $620 \text{ cm}^2$
4.  $640 \text{ cm}^2$
5.  $680 \text{ cm}^2$

【No. 19】 図は、我が国における 2000 年度と 2018 年度の物質フロー(物の流れ)を表したものであるが、これから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

なお、物質フローとは、どれだけの資源を採取、消費、廃棄しているかを知るために作られたものである。また、図の数値は四捨五入によるため、合計が一致しない場合がある。



1. 2000年度と2018年度を比較すると、「天然資源等投入量」の減少量は、「総物質投入量」の減少量よりも少ない。
2. 「廃棄物等の発生」に占める「減量化」の割合は、2000年度、2018年度共に30%未満である。
3. 2018年度の「天然資源等投入量」と「廃棄物等の発生」の合計に占める「循環利用量」の割合は、2018年度の「総物質投入量」と「含水等」の合計に占める「循環利用量」の割合よりも高い。
4. 「輸入資源」及び「エネルギー消費及び工業プロセス排出」について、2000年度に対する2018年度の減少率は、それぞれ共に15%を超えている。
5. 「総物質投入量」に占める「循環利用量」の割合をみると、2000年度の値(%)と2018年度の値(%)の差の絶対値は、3ポイントよりも大きい。

【No. 20】 表は、我が国における養殖業の品目別の収穫量と主産地の割合を示したものである。これから確実にいえることとして最も妥当なのはどれか。

品 目	収穫量(単位：千トン)			2019年 主産地の割合(%)		
	2000年	2010年	2019年			
ぶり類	137	139	136	鹿児島 32	愛媛 15	大分 15
まだい	82	68	62	愛媛 57	熊本 13	高知 10
ほたてがい	211	220	143	青森 69	北海道 28	宮城 2
こんぶ類	54	43	33	北海道 73	岩手 23	宮城 3
のり類	392	329	251	佐賀 26	兵庫 21	福岡 16

1. 2000年と2010年の5品目の収穫量の合計を比べると、2010年は2000年の8割未満である。
2. 2000年の収穫量と比べて、2010年の収穫量が増加した品目は一つである。
3. 2019年の福岡の「のり類」の収穫量は、2019年の北海道の「こんぶ類」の収穫量の2倍より多い。
4. 5品目のうち、2010年の収穫量に対する2019年の収穫量の割合  $\left(\frac{2019年の収穫量}{2010年の収穫量}\right)$  が、最も大きいのは「ぶり類」であり、最も小さいのは「ほたてがい」である。
5. 2019年の愛媛の「まだい」の収穫量は、2019年の北海道の「ほたてがい」の収穫量より多い。

【No. 21】 定数  $a$  が  $0 < a < 1$  を満たすとき、定積分  $\int_0^1 |x - a| dx$  の値はいくらか。

1.  $a + \frac{1}{2}$

2.  $a^2 + \frac{1}{2}$

3.  $-a^2 + a - \frac{1}{2}$

4.  $a^2 - a - \frac{1}{2}$

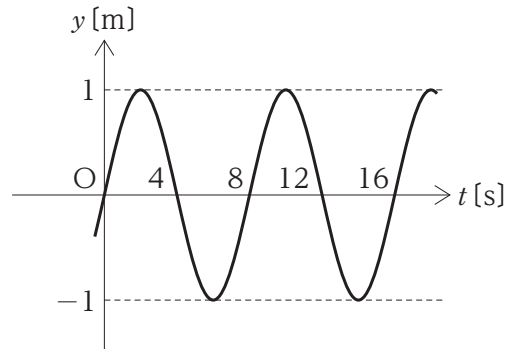
5.  $a^2 - a + \frac{1}{2}$



【No. 22】 波に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 図 I は、正弦波のある位置における媒質の変位  $y$  [m] と時刻  $t$  [s] との関係を表すグラフである。この波の振幅は 2 m、周期は 4 s である。

図 I



2. 図 II は、 $x$  軸の正の向きに進んでいる正弦波の時刻  $t = 0$  における媒質の変位  $y$  と位置  $x$  との関係を表すグラフである。この波の位置  $x = 0$  における  $y$  と  $t$  との関係を表すグラフは、図 III のようになる。

図 II

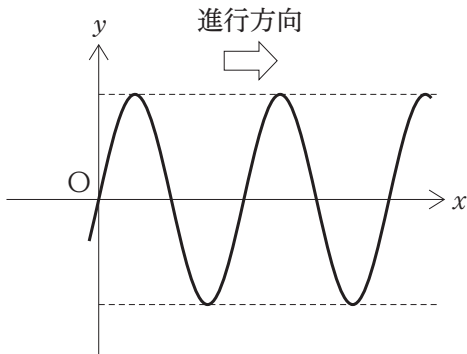
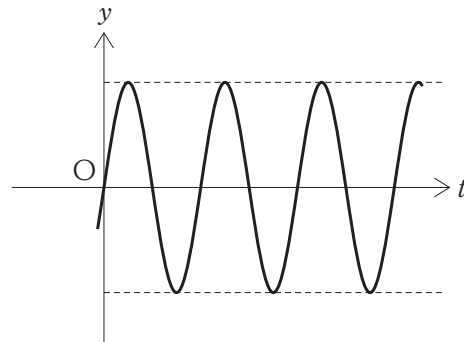


図 III



3. 音の三要素の一つに、音の高さがある。音の高さは、音の振動数によって決まり、振動数が大きくなるほど音は高くなる。
4. 振幅が少しだけ異なる二つのおんさを同時に鳴らすと音の大きさが周期的に変化して「ワーン、ワーン」というように聞こえる現象を回折といい、ドップラー効果が原因である。
5. 縦波は、媒質の振動方向と波の伝わる方向が垂直である波のことである。縦波は、媒質が固体のときには伝わるが、媒質が液体や気体のときには伝わらない。

【No. 23】 元素に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 物質を構成している基本的な成分を元素という。現在、約 300 種類の元素が知られているが、地球上に天然に存在する元素は 30 種類程度に過ぎず、残りは人工的に作り出した元素である。
2. 1 種類の元素だけでできている物質を単体といい、同じ元素の単体で性質の異なる物質を互いに同素体という。例えば、炭素の同素体には、黒鉛やダイヤモンドなどがある。
3. 2 種類以上の元素でできている物質を化合物という。化合物は、固体、液体、気体によって成分元素の質量の割合がそれぞれ異なり、水の場合は、気体は固体より水素の割合が高い。
4. 炎色反応を利用し、物質中に含まれる元素を検出できる。例えば、カリウムは青緑色、ナトリウムは赤色、炭素は黒色を示し、その色から元素を確認できる。
5. 沈殿が生じることを利用し、物質中に含まれる元素を検出できる。例えば、食塩水に硫酸銅水溶液を加えると赤紫色の沈殿が生じ、沈殿物に銅とフッ素が含まれていることが確認できる。

【No. 24】 ヒトの体内環境に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 体内環境を維持する主な中枢は、大脳にある甲状腺である。甲状腺は、体内の水分量や血糖濃度などの変化を感知すると、内分泌系や運動神経を通じて各器官の調節を行う。
2. 自律神経系は、交感神経と副交感神経から成り、交感神経は休息時、副交感神経は興奮時に働く。例えば、気管支は、交感神経が働くと収縮し、副交感神経が働くと拡張する。
3. 体液の塩分濃度が上昇すると、抗利尿ホルモン(バソプレシン)が血液中に分泌される。抗利尿ホルモンには、原尿から再吸収する水分量を減少させ、尿量を増加させる働きがある。
4. 血糖濃度が上昇すると、すい臓からインスリンが分泌され、細胞内へのグルコースの取り込みや、細胞中のグルコースの消費などが促進されることで、血糖濃度が低下する。
5. 皮膚や血液の温度が低下すると、皮膚の血管が拡張し、血流量が増加することで熱の放散量が減少する。さらに、平滑筋が収縮と弛緩を繰り返す震えが起こる。

【No. 25】 次は、地球の形や大きさなどに関する記述であるが、A、B、Cに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

地球が球形であることは、紀元前には、既に知られていた。地球の大きさについては、長さの単位であるメートル(m)が、フランス革命後に、パリを通る子午線(北極と南極を結ぶ大円)の北極から赤道までの長さの1000万分の1が1mとなるように、つまり、地球の全周が40000kmとなるように決められた。これらのことから、同じ経度に沿った緯度1度分の長さは、地球の全周の  であり、およそ  であることが分かる。

例えば、地点P(北緯30度、東経150度)から地点Q(北緯75度、東経150度)まで地球表面上で距離が最短となる線を引いたとき、その長さはおよそ  となる。

	A	B	C
1.	180分の1	222 km	5000 km
2.	180分の1	222 km	10000 km
3.	360分の1	111 km	5000 km
4.	360分の1	111 km	10000 km
5.	360分の1	111 km	20000 km

【No. 26】 中南米の歴史に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 大航海時代、コロンブスは、スペインの援助を受けて太平洋を横断し、南米大陸に到達した後、インカ帝国を滅ぼしてスペインの植民地とした。
2. 18世紀になると、英国は、中米からスペインやフランスの勢力を駆逐して、メキシコからパナマに至る地域を植民地とした。
3. ナポレオン戦争による動乱は、独立運動の好機となり、ポルトガル領ブラジルは、19世紀前半にポルトガルから独立した。
4. 南米大陸では、第一次世界大戦後、民族自決の原則に基づき独立運動が本格化し、カストロらが指導する独立戦争が起こった。
5. ラテンアメリカ諸国の独立が進むと、英国は、モンロー宣言に基づき独立に干渉しようとしたが、フランスは干渉に反対した。

【No. 27】 モンゴル帝国や元に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 匈奴を滅ぼしてモンゴル高原を統一したチンギス=ハンは、大征服活動を開始し、モンゴル帝国を作り上げた。チンギス=ハンは続いて高句麗を滅ぼし、領土を拡大した。
2. チンギス=ハンの死後、大ハンに即位したバトゥはティムール帝国を滅ぼして東ヨーロッパに進出し、ワテルローの戦いでフランス軍を破った。
3. 商業を重視したモンゴル帝国は、交易の利益を得るために交通路の整備に努め、幹線道路には駅を設置し、通行者に安全と便宜を図る駅伝制(ジャムチ)を整えた。
4. 大ハンに即位したフビライ=ハンは、唐を滅ぼし、その首都であった現在の南京の地に新首都を建設し、これを大都と名付け、国号を元とした。
5. 14世紀前半、元では宮廷の内紛や経済の混乱が目立つようになり、貴族の反乱である黄巾の乱が起こった。この反乱で頭角を現した鄭和が後に元を滅ぼし、明を建国した。

【No. 28】 江戸時代の対外政策に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 幕府は、17世紀半ばに、対外関係を、長崎・対馬・水戸の三つの窓口役に限定して厳しく規制する方針(鎖国)に転じ、蝦夷地では、対馬藩にアイヌとの交易を認めていた。
2. 17世紀後半、フランス使節が根室に来航し、漂流民の間宮林蔵を送り届けるとともに通商を求めた。しかし、幕府は鎖国の方針を盾にこれを拒絶した。
3. 幕府は、日本の領土を確定するため、最上徳内に樺太を、近藤重蔵に台湾を調査させた。樺太には「大日本恵登呂府」の標柱を立てさせ、日本の固有の領土であることを宣言した。
4. 19世紀前半、英国や米国の捕鯨船などが日本近海に出没し、異国船の接近に危機感を持った幕府は、異国船打払令を出した。
5. 19世紀前半、日本人漂流民返還のために来航したロシア船が砲撃される事件が発生した。蘭学者の大塩平八郎は、事件への幕府の対応を批判したため、幕府は彼を厳しく処罰した。

【No. 29】 アジアやアフリカの自然環境などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 西アジアは、年間を通じて雨が降る地域と年間を通じて乾燥した地域に分かれ、インド半島の北東部からカスピ海南部にかけては熱帯雨林が広がり、年間を通じて高温多湿である。
2. 中央アジアでは、ガンジス川などの流域で大規模な灌漑開発が行われ、綿花栽培地が拡大した一方、アドリア海の枯渇など、深刻な環境問題も起こっている。
3. 南アジアでは、ティグリス川、ユーフラテス川などの外来河川の水資源を生かした灌漑農業が営まれ、外来河川のない地域では、地下水を利用するセルバが発達した。
4. 赤道以南のアフリカは、大部分が草原で形成されており、標高が比較的低いのが特徴である。一方、赤道付近には、アフリカ大陸最高峰のモンブラン山がある。
5. 北アフリカには、サハラ砂漠が広がっている。砂漠周辺のステップと呼ばれる草原では、遊牧が行われてきた。

【No. 30】 オセアニア諸国に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. オーストラリアは、森林率が高い国で、熱帯雨林、温帯林などの森林面積が南半球の森林面積の約半分を占めている。沿岸部には、グレートバリアリーフなどのサンゴ礁が広がっている。
2. オーストラリアは、鉱物資源が豊かであり、鉄鉱石、ボーキサイトなどの産出量が多い。鉱床が浅くて広い場合は、露天掘りが行われている。
3. オーストラリアの先住民であるマオリは、ニュージーランドから移住したといわれ、現在のオーストラリアの人口の約3割を占めている。
4. ニュージーランドは、大部分が乾燥地域であり、掘り抜き井戸を利用した灌漑<sup>かんがい</sup>によって、羊やアルパカなどの牧畜が行われている。
5. トンガやニュージーランドは、地球温暖化の影響で、海面上昇に伴う浸水や国土の消失が進んでおり、このまま温暖化が進行すると国土の大半が水没すると危惧されている。

【No. 31】 次のA～Fのカタカナに( )内の漢字を当てたとき、正しく漢字が当てられた四字熟語のみを挙げているのはどれか。

- A：シンキイッテン(新機一転)
- B：イッシンイッタイ(一進一帯)
- C：イチレンタクショウ(一蓮托生)
- D：ゼツタイゼツメイ(絶対絶命)
- E：オンコチシン(温故知新)
- F：ドクダンセンコウ(独断専行)

1. A、B、C
2. A、D、E
3. B、C、E
4. B、D、F
5. C、E、F

【No. 32】 次のA～Eの慣用句のうち、その意味が妥当なもののみを挙げているのはどれか。

- A：喉が鳴る …………… おいしそうな飲食物を見て、食欲が盛んになること。
- B：長蛇を逸する …………… 惜しいところで大物を取り逃がすこと。
- C：御託を並べる …………… 相手に理解してもらうために丁寧に話すこと。
- D：舌を巻く …………… あきれて次に言うべき言葉が出てこないこと。
- E：溜飲が下がる …………… 悲しさや悔しさをこらえること。

- 1. A、B
- 2. A、C
- 3. B、D
- 4. C、E
- 5. D、E

【No. 33】 次のうち、下線部が文法的に正しい英文として最も妥当なのはどれか。

- 1. She was made to go to the shop despite her busy schedule.
- 2. You had better looking over the report again.
- 3. I could not help to smile at his dog playing with a ball.
- 4. He got his son quit eating a lot of chocolate before lunch.
- 5. It was careless from her to leave her umbrella in the taxi.

【No. 34】 次の各組の英文と和文がほぼ同じ意味になるとき、ア、イ、ウに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

〔 They came up  a new idea.  
彼らは新しいアイデアを思い付いた。

〔 Do you have anything to say with regard  the subject?  
その問題に関して何か言うことがありますか。

〔 He asked me to put  his books.  
彼は私に本を片付けるよう頼んだ。

- |    | ア    | イ  | ウ    |
|----|------|----|------|
| 1. | of   | in | on   |
| 2. | of   | to | away |
| 3. | of   | to | on   |
| 4. | with | in | away |
| 5. | with | to | away |

【No. 35】 国民主権や民主主義に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 国民主権は、日本国憲法における五大基本原理の一つであり、大日本帝国憲法においても国民主権について規定されていた。
2. 国民主権に基づく民主政治の原理を示した言葉として、ワシントンが起草したアメリカ独立宣言における「人民の、人民による、人民のための政治」が挙げられる。
3. 国民の中から代表を選んで議会を組織し、議会が意思決定を行う方法を議会制民主主義(間接民主主義)といい、我が国における憲法改正の国民投票も間接民主主義の一例とされる。
4. 議会制民主主義における議会は、選挙区や身分(階層)の代表ではなく全国民の代表で構成され(国民代表の原理)、公開の討論を通じて方針を決定すること(審議の原理)などが求められる。
5. 国民主権の下では、国民の総意に基づいて政治が行われることが原則であり、多数者の意見を全体の意思とする多数決原理は認められていない。



【No. 36】 次は、新しい人権に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして最も妥当なのはどれか。

私生活上の事柄をみだりに公開されない権利として、プライバシーの権利が主張されている。これに関連して、我が国においては、2002年から住民票にコード番号をつけて一元的に管理し、全国共通の本人確認を可能とする  が実施された一方、2003年には  が成立し、民間事業者等が個人情報を適正に取り扱うためのルールが制定された。

個人が一定の私的な事柄について、権力的な干渉や介入を受けずに自ら決定することができる権利を  という。これに関連して、例えば、医療や手術を受ける際に、あらかじめ医師から十分な説明を受けて理解した上で同意するという  の重要性が指摘されている。

A	B	C	D
1. 住民基本台帳ネットワーク	個人情報保護関連法	自己決定権	インフォームド・コンセント
2. 住民基本台帳ネットワーク	個人情報保護関連法	生存権	アクセス権
3. マイナンバー制度	特定秘密保護法	自己決定権	インフォームド・コンセント
4. マイナンバー制度	特定秘密保護法	自己決定権	アクセス権
5. マイナンバー制度	個人情報保護関連法	生存権	インフォームド・コンセント

【No. 37】 経済活動に関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 財を作り出すために必要な資本・労働力・サービス・土地を生産要素という。一般に、財は希少性をもつ一方で、生産要素は希少性をもたない。
2. 経済社会の仕組みを経済体制といい、政府の計画に基づいて財の品目や生産量が決定される資本主義経済や、労働者が自らの労働力を売り、賃金・給与を得る社会主義経済が存在する。
3. 経済活動において、複数の選択肢の中からある選択を行う際に、選ばなかった選択肢が与えてくれたであろう利益のうち最大のものを、機会費用という。
4. 資源に限りがある以上、人々が求める商品の全てを生産できないため、資源配分が不均衡な状況が生じる。これをワーキングプアといい、経済活動の課題となっている。
5. 分業とは、複数の労働者が計画的に共同して生産を行うことをいい、協業とは、生産工程を多くの段階に分け、それぞれの工程で労働者が役割を分担して製品を完成させることをいう。

【No. 38】 1930～1960年代における我が国の経済などに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 日中戦争の開始直後、犬養毅内閣の高橋是清蔵相が金の輸出を解禁した結果、円安となり綿布などの輸出が増加した。
2. 太平洋戦争が始まると、東条英機内閣は国家総動員法を公布し、戦争目的のために物資や労働力を動員し、傾斜生産方式により鉄鋼や電力などに資金や資源を集中的に投入した。
3. 第二次世界大戦直後に行われた農地改革においては、小規模の自作農の所有地を政府が買い上げ、大規模地主に売り渡すことにより農業の効率化を推進した。
4. 吉田茂内閣は、国民所得倍増計画を掲げ、経済成長を進める政策を実施した結果、1950～1960年代には、実質 GNP が年平均で約 20 % 増加する高度経済成長が続いた。
5. 東京オリンピックが開催された 1960 年代半ば頃には、東海道新幹線が開通し、高速自動車道路網の建設が進められた。

【No. 39】 高度情報化社会に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

A：インターネットの普及などにより、いつでも、どこでも、誰でも情報にアクセスし、利用できる社会をユビキタス社会という。

B：我が国では、不正アクセス禁止法や製造物責任法(PL法)が制定されたことにより、ネットワークを利用したサイバー犯罪の検挙件数は年々減少している。

C：個人の発信した情報や購買履歴などの膨大な情報(ビッグデータ)は、集積・分析され、企業の生産活動など様々な目的で利用されている。

D：情報リテラシーとは、インターネット上の多言語の情報を読み取ることができる能力をいい、この能力を持つ人とそうでない人の間の語学力の格差をデジタル・デバイドという。

1. A、B
2. A、C
3. A、D
4. B、C
5. C、D

【No. 40】 近現代の思想家に関する記述A～Dのうち、妥当なもののみを挙げているのはどれか。

A：サルトルは、『種の起源』の中で「人は女に生まれるのではない、女になるのだ」と語り、「女性らしさ」は社会の文化や習慣によって人為的につくられたものだと説いた。

B：レヴィ＝ストロースは、未開社会の人々の「野生の思考」を、一定の規則に基づいた厳密な思考であるとし、その思考をおくれたものとみなす西洋文明中心の考え方を批判した。

C：シュヴァイツァーは、ワシントン大行進で「私には夢がある」というスピーチを行い、不当な植民地支配に対して、非暴力・不服従の抵抗運動を呼びかけた。

D：フロイトは、複数の欲求がぶつかり合って葛藤が生じたり、自我の欲求が満たされない欲求不満が起こったりして、心の安定が脅かされると、無意識のうちに防衛機制が働くとした。

1. A、B
2. A、C
3. B、C
4. B、D
5. C、D

## 2022年度基礎能力試験の正答

問題	正解番号	問題	正解番号
No.1	4	No.21	5
No.2	5	No.22	3
No.3	2	No.23	2
No.4	1	No.24	4
No.5	3	No.25	3
No.6	4	No.26	3
No.7	5	No.27	3
No.8	1	No.28	4
No.9	3	No.29	5
No.10	2	No.30	2
No.11	5	No.31	5
No.12	3	No.32	1
No.13	2	No.33	1
No.14	1	No.34	5
No.15	1	No.35	4
No.16	2	No.36	1
No.17	4	No.37	3
No.18	2	No.38	5
No.19	5	No.39	2
No.20	4	No.40	4